

令和3年度 現地研修会（第6回）（報告）

～航空レーザ計測データを活用した治山全体計画について～

○主催：一般社団法人森林技術コンサルタンツ協議会・都道府県森林土木コンサルタンツ連絡協議会（共催）

○日時：令和3年12月3日（金） 10時00分～15時00分

○場所：神奈川県相模原市緑区鳥屋字奥野地内（宮ヶ瀬ダム湖上流）
…別紙位置図参照

○行程：

10時00分：集合（宮ヶ瀬ダム駐車場）

10時00分～10時20分：研修現場への移動

10時20分～10時30分：開会式

・主催者挨拶

一般社団法人森林技術コンサルタンツ協議会 上河潔理事兼事務局長
都道府県森林土木コンサルタンツ連絡協議会 下平敦事務局長

・ご挨拶：神奈川県県央地域県政総合センター森林部治山課 木下雄副技官

・参加者紹介：神奈川県県央地域県政総合センター・相模原市の参加者

10時30分～12時00分：研修の概要説明・現地視察（B流域）

12時00分～13時00分：昼食

13時00分～14時40分：現地視察（A流域）・質疑討論
：閉会式

・主催者挨拶：一般社団法人森林技術コンサルタンツ協議会専門部会壁村秀水会長

14時40分～15時00分：駐車場への移動

15時00分：解散（集合場所）

○研修内容：

・研修講師：アジア航測株式会社森林・農業ソリューション技術部森林コンサルタント課
野々山直人氏

・研修内容：

令和元年10月の台風19号により大きな影響を受けた、神奈川県相模原市緑区内で実施された「山地災害重点地域総合対策事業」における「調査及び全体計画策定業務」の結果をもとに、宮ヶ瀬ダム湖上流部において航空レーザ計測データを活用した治山計画策定について、2つの異なるタイプの流域の被災前後の地形、森林等の状態を踏査した後、参加者による意見交換等を行った。

・DEM（数値標高モデル）による標高値について、2009年計測データと2020年との差を比較する「差分解析」により、地盤の変動を確認する方法を採用。

・差分解析により、堆積・浸食状況の変動から荒廃前・後の生産土砂量や崩壊深・浸食深等の状態を解析し、具体的に計画した治山ダム、土留工等の治山対策を議題として意見交換を行った。

○参加者：全参加者42名

・受講者：32名（コンサル協議会29名、県コンサル3名）

・神奈川県：4名（県央地域県政総合センター治山課1名、水源の森林推進課3名）

- ・相模原市：2名（環境経済局経済部森林政策課）
- ・事務局：コンサル協議会2名、県コンサル2名

○研修協力機関：

- 研修全般：神奈川県環境農政局緑政部森林再生課、神奈川県県央地域県政総合センター森林部治山課
- 入林関係：神奈川県相模原市鳥屋出張所（鳥屋財産区）
- 林道使用関係：神奈川県県央地域県政総合センター森林部林道課
- 会員企業：アジア航測株式会社、国土防災技術株式会社、株式会社森林環境コンサルタント、株式会社森林テクニクス（順不同）

※本研修会はJAFEE認定プログラムとして実施（CPD 3.0単位）

以上

【 現地研修会現場 位置図 】





開会式



主催者挨拶（森林技術コンサルタツ協議会）



主催者挨拶（都道府県コンサル連絡協議会）



研修概要説明（アジア航測（株）・野々山氏）



ご挨拶（神奈川県県央地域県政総合センター）



B 流域の荒廃状況①



B 流域の荒廃状況②



B 流域の荒廃状況③



A 流域の荒廃状況①



A 流域の荒廃状況②



A 流域の荒廃状況③



主催者挨拶（閉会式）